



# 上野南部自治協だより

平成30年3月1日発行

第37号

— 発行 —

上野南部地区住民自治協議会

上野南部公民館

伊賀市上野桑町1412

TEL: 23-5236

HPアドレス <http://ueno-nanbu.com>

## 秋の叙勲 小丸 勅司 さん 旭日双光章受賞



平成29年度 秋の叙勲を小丸勅司会長が受賞されました。

小丸会長は、市の行政改革や伊賀市の発展、市民生活の向上など永年にわたる地方自治功勞により旭日双光章の榮に浴されました。

現在、上野南部地区住民自治協議会会長、上野桑町自治会長として「見守り支援事業」を立ち上げ、地区の隅々まで見守る組織を作り、地区住民の生活向上に努力されています。

平成5年4月から平成21年3月までの5期16年間、旧上野市を含めて市議会議員として地方自治の振興発展に尽力されました。

市議会議員在職期間の主な役職としては、各常任委員長をはじめ、平成17年4月より伊賀市議会議長、同時に三重県市議会議長会会長を務められました。

受賞、おめでとうございます。



## 伊賀市市政功勞賞 森永 勝二 さん 受賞



伊賀市制13周年を迎え、「伊賀市市政功勞賞」を森永勝二さんが受賞されました。

森永さんは、旧上野市を含めて市議会議員として平成3年5月から平成25年3月まで5期にわたり市議会議員として地方自治の振興発展に尽力されました。その間、常任委員長や監査委員を歴任され、現在は、上野南部地区住民自治協議会の相談役として自治協の発展や地区住民の生活向上に貢献されています。

受賞、おめでとうございます。



## 議会報告会

1月27日(土)午前10時から上野南部地区市民センターにおいて議会報告会が開催されました。北出、森川、山下、北森の各市議会議員出席の下、平成29年度第6回伊賀市議会(定例会)に上程された平成29年度補正予算関係議案など市長提出議案の審議結果が報告されました。

議会報告:伊賀市行政組織条例の全面改正の否決については、議会側の原案否決の理由として、「企画振興部と財務部」を統合して「企画財政部」と一緒になることの意図が見えない。

### 【質問】

伊賀市消防団員の定数を1,510人から1,450人に削減については、鎮火後の残火処理や、今後、予想される東南海沖地震等を考えると削減は理解できない。

### 【議会回答】

活動が確認されていない支援団員の減員が対象であり、現時点での消防団活動には支障は生じないとの判断である。

引き続き、上野南部地区住民自治協議会から事前に通告した3項目について議会側の見解を求めました。

## 1. 上水道の現状と課題

### 【質問】

第8次上水道拡張計画実施にともない、企業庁への負担金支払いなど多額の事業費を要することになる。当然、その費用は使用料金に跳ね返ることと思われるが、川上ダムの利水も含め現状と今後の課題について示されたい。

### 【議会回答】

現在の「水道料金収入」で企業償還金、ダム負担金の支出をしても、収支の黒字が見込まれ、健全な運用ができると考えている。

## 2. 街なかの生活排水処理の推進

### 【質問】

伊賀市では、小規模の処理区による公共下水道計画をされているが、市街地の高齢化や借家が多い現状から、多額の処理場の建設費と宅地内工事費の負担に耐えられないと思われる。

津市では、27年度から市管理型の浄化槽事業を制度化しているが、市街地の生活排水処理の現状と課題について示されたい。

### 【議会回答】

市街地の現状を調査中であり、津市の制度は考えていない。

## 3. 都市計画道路整備の推進

### 【質問】

恵美須神社前の都市計画道路(南平野木興線)は、上野愛宕町(中之立町通り)から西側が延伸されていない。服部橋新都市線の拡幅工事が36年度完成予定であるが、その完成後に当該路線の整備に事業着手とのことである。

一昨年暮れには糸魚川市で、広範囲に延焼し大火となったことから、老巧木造家屋の密集する地域として危惧している。

上野鉄砲町、上野万町、上野愛宕町周辺の防火対策上からも早急に国道422号への拡幅接続が必要と考えるが、現状と早期事業実現に向けての課題を示されたい。

### 【議会回答】

服部橋新都市線が36年に完成後、南平野木興線の事業着手に向け、調査している。

【質問】

南平野木興線は昭和30年に計画され、一部路線は拡幅されたが、上野鉄砲町、上野万町の道路幅の狭い個所が残り自動車が入りづらく、消火に困難を極めた。

施工順位を変えてでも着工できないのか。

【議会回答】

現状を把握し、現地調査もしており理解してほしい。

【出席者からのその他の要望】

生活の安全の為、道路の白線等、日々、安心安全で生活ができる環境整備を整えてほしい。

【議会回答】

危険個所の点検修理はしている。予算を取りに行くのが議員の仕事であるが予算がない。

【出席者意見】 予算がないの一点張りでは困る。打開策を考えてほしい。

【出席者からのその他の要望】

南庁舎の取り扱いを今後どうするのか、伊賀市の財政がよくない状況で、保存の為に多額の経費を支出するのに納得できない。

【議会回答】

議会としては取り壊すか、改修して残すか、議論はしているが結論はまとまっていない。

【出席者からのその他の要望】

教育費の削減はおかしい。子供たちの為に多くの予算を確保してほしい。通学路については危険個所の点検だけで、改修が伴わない。

新庁舎ができれば、現在、市職員が使用している旧消防署横の土日有料の駐車場を平日も有料にするのか、無料にするのかなどの質問・意見がありました。

## 健康スポーツ部会

2月4日(日)健康スポーツ部会主催のボリング大会が小田町のサンボールで開催されました。

75名(子どもを含む)の参加者で和気あいあいと熱戦が繰り広げられました。

大会結果は、下記の通りです。(敬称略)



### 男子の部

優勝	木橋 豊	382点
準優勝	幹田 昌宏	337点
3位	上田 文司	330点



### 女子の部

優勝	飯沢 陽子	306点
準優勝	松岡 泉	285点
3位	幹田裕美子	262点



### 子どもの部

優勝	青野 慎	155点
準優勝	小丸 恵生	128点
3位	坂本 龍弥	118点



## ええとこ便り

今回は、上野西日南町の『金刀比羅宮』を紹介します。

銀座通りから西に入ると、銭湯や昔からの家並みが残る上野西日南町があります。



T字路の北側に石の鳥居があり、通りを見守るかの様に『金刀比羅宮』が鎮座しています。古老の伝承によると、旧神殿は、集議所の北奥に南向きにあり、社殿は高い石段を登って参拝し、お百度参りの木札、お神酒の徳利・壺が沢山供えられ立派な造営で、天保年間（1830年～1844年）に平家の落武者に由縁の者が奉祀したと伝えられています。

当時の手水石は木興町の金刀比羅神社に納めたと伝えられており、この手水石には天保15年6月の刻銘があることから古く天保以来、祀り続けられたと推定されます。

明治41年2月9日、縣命によって縣社菅原神社境内の美加多神社に合祀され、その跡地に集議所が建てられ、その後昭和10年に改築されました。

合祀後、昭和8年頃町内で災いが相次いで起こったため町の役員や有志が相談して遙拝所を建てようということになり昭和11年9月に完成しました。

また、昭和10年4月に記された「集議所改築記録」によると「当集議所敷地八元当字の鎮守社金刀比羅大神ノ境内ニシテ古来八町民ノ信仰厚カリシト傳ヘ聞ク明治四拾壹年度ニ縣命ニ依リテ上野町各字ノ鎮守社ハ惣テ縣社菅原神社境内ヘ美加多神社トシテ合祀サレ今日ニ及ブ（中略）尚近来金刀比羅大神ヘノ信仰日ニ増シ盛ニシテ神ノ冥護ヲ念願スル者数多アリ中ニモ古来ヨリ當字ニ因縁深カリシ大神ノ鎮守社ノナキヲ嘆キ遂ニ美加多神社ニ合祀サレシ金刀比羅大神ノ分靈ヲ當字旧境内地ニ奉安置ノ議纏リ旧集議所ノ奥ニ改築シ鎮守社ヲ表敷地ニ建立ス」とあります。

要約すると金刀比羅宮が、古来からこの地にあり明治41年に縣命によって菅原神社（上野天神宮）境内にある美加多神社に合祀されたが、町内の方々の金刀比羅宮大神への信仰が厚く、以前金刀比羅宮の境内があった場所に昭和10年に菅原神社（上野天神宮）より分霊してもらい奥に集議所を建て表の敷地に鎮守社を建立されました。

今も町内の人々からの信仰が厚く、毎年3月9日と9月9日には大祭が行われ菅原神社（上野天神宮）の神主さんが祭祀を執り行います。

